



校報

水糸者

No. 1305

元年度・第164号

みんなのために、がんばってくれた**6年生**に



感謝の気持ちを伝えよう!

28日行われる児童会行事『6年生を送る会』に向けての取組みが加速しています。最高学年として、より良い種市小学校になるために、色々と頑張ってくれた、手本となってくれた、守ってくれた6年生の皆さんに感謝を伝えようと、在校生は出し物や贈り物の準備に励んでいます。

6年生を送る会のテーマ

届け!ぼくらの感謝の気持ち

今年1年間、最高学年としてがんばってきた31人の6年生達。優しく明るい6年生のおかげで、今年度も種小っ子の笑顔があふれる良い1年となっています。頑張り続けた6年生に感謝の気持ちを伝える「6年生を送る会」に向けて、在校生が何度も繰り返し練習しています。20日には在校生が体育館に集まり、6年生に送るメッセージ作成を行っていました。その姿からは、6年生に対する今までの感謝の気持ちを、演技の中の返事や声の大きさ、動きなどで表そうという気持ちが良く伝わってきています。



テーマなどを説明する5年生の実行委員会



5年生が主導し、『縦割り班』で6年生へのプレゼントの準備を行っている子ども達。和気あいあいでした。

今年度の「6年生を送る会」も、笑いあり、涙ありの感動的な素晴らしい会となる事でしょうね。「がんばってくれてありがとう」、「遊んでくれてありがとう」、「教えてくれてありがとう」、「楽しい日々をありがとう」、「支えてくれてありがとう」、「手本になってくれてありがとう」、「手伝ってくれてありがとう」、「励ましてくれてありがとう」、「助けてくれてありがとう」、「やさしくしてくれてありがとう」、「わかってくれてありがとう」、「かばってくれてありがとう」…。まだまだある、6年生に対してのたくさんの「ありがとう」…

この時期の種市小学校は、世界に誇れる美しい日本語の1つである「感謝」と「ありがとう」が校内に溢れています。



保護者・地域の皆さんへ

保護者、地域の方々…、
どなたでもご参加できます。

令和元年度「3.11集会」ご案内

復元納棺師（北上市在住）

笹原留依子さん講演会

種市小学校 保護者・学区民の皆さま

余寒の候、皆様にはおかれましては、ますますご健勝のこととお喜び申し上げます。
日頃、本校の教育活動にご支援・ご協力をいただきありがとうございます。

さて、本校では毎年、東日本大震災が発生した3月11日に『3.11集会』を開催し、3.11に起こった悲劇を通して、命の大切さや命を守る行動、世界中の国からいただいた援助などについて確認する日としています。

今年度は、東日本大震災の時に被災地に長期間滞在し、事故や災害で傷んでしまい生前の面影を失った故人をその人らしい顔に戻す「復元納棺師」の笹原留依子さんを講師として、下記のとおり開催いたします。

つきましては、ご近所お誘いあわせのうえ多くの皆さんにお聴きいただきたく、ご案内申し上げます。

令和2年2月21日

洋野町立種市小学校

校長 太田 武 邦



- と き： 3月 9日（月）
10時30分～11時15分
- 会 場：洋野町立種市小学校・体育館
- 演 題：「未定（家族や命に関する事の予定）」
- その他

- ・来校の際は、児童昇降口か体育館入口からお入りください。
- ・自家用車で学校においでになる方は、校庭前や体育館前の駐車場をご利用ください。
- ・この件での問い合わせは、本校副校長（鈴木）までお願いします。

電話 65-2128

笹原留依子さんが、被災地で出会って来た故人とそのご家族を綴った「震災絵日記」です。笹原さんは、26年3月9日（日）には、セシリアホールで行われた『洋野町東日本大震災復興講演会』の時に、「東日本大震災を忘れない～遺族の思いに寄り添って～」と題しての講演も行った方です。笹原さんはその他に、「心のおくりびと」～東日本大震災・復元納棺師～という本も書いています。

繰り返す平凡な日常がある幸せや、かけがえない命の尊さ、忘れてはいけない悲しい事実などがたくさん詰まった絵本です。この絵本は本校の図書室においてあります。